

令和7年度 奈良県認知症対応型サービス事業開設者研修 カリキュラム

1日目までの事前視聴		※詳細は受講決定後にお知らせします。	
科 目		目 的	
認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援		認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	
生活支援のためのケアの演習		食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	
家族介護者の理解と支援方法		在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	
権利擁護の視点に基づく支援		権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	
1日目 令和7年10月17日（金）		10:40～13:10 ※認知症介護実践者研修（2回目）と同時開催	
科 目		目 的	
認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援		認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	
生活支援のためのケアの演習		食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	
2日目 令和7年11月7日（金）		10:00～16:30 ※認知症対応型サービス事業管理者研修と同時開催	
科 目		目 的	
地域密着型サービスの取組み		事業所からの実践報告を通じ、各事業のサービス提供のあり方について理解する。	
適切なサービス提供のあり方		サービスの質を確保するために必要な事項について理解する。	
2日目（令和7年11月7日（金））以降			
現場体験・レポート		原則として各自法人内の小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所にて現場体験を行っていただきます。また、講義・現場体験を踏まえ、レポートを提出していただきます。（詳細は受講決定時にお知らせします）	

※研修日程は、変更する場合があります。